

平成 27 年度の選定経過

笠縫東こども園 矢橋ふたばこども園について

平成 27 年度に、草津市立認定こども園園名等選定委員会を開催し、笠縫東幼稚園（平井三丁目）と第五保育所（矢橋町）の認定こども園化にあたり、園名、園章、園歌の募集を行いました。

◆園名について

「①わかりやすい」「②地域からの親しみやすさ」「③心豊かでたくましく生き、未来をつくる子どもになってほしいとの願い」（子どもの育ちへの願い）の 3 つをポイントとし、地域と育ちへの願いの両方を組み合わせた園名で検討を行い、選定いただき、決定しました。

◆園章について

わかりやすく、親しみやすいこと、子どもの育ちや学び、子どもの心や思いが表現されていることなどの観点から選定いただき、決定しました。

◆園歌（歌詞）について

子どもが歌いやすいこと、明るく、親しみやすく、感情豊かであることなどの観点から選定いただき、決定しました。

※園名選定にあたっては、草津市の就学前の教育・保育、子育て施策などで大事にしているキーワードを参考

■草津市保育教育指針から

乳幼児教育・保育の目標 「心豊かでたくましく生きる子どもの育成」

めざす子ども像

- *いのちを大切にすること《健康・体力》
- *よく考え、主体的に行動すること《学びの基礎力》
- *人と豊かにかかわること《豊かな人間性》

■草津市子ども・子育て支援事業計画の目指すこどもの姿「草津っ子」

心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津の子ども

- ①いのちを大切に、育む子ども（健康・体力）
- ②よく考え、主体的に行動する子ども（学び）
- ③人と豊かに関わる子ども（豊かな人間性）
- ④生まれ育った地域に愛着を持つ子ども（地域）

笠縫東幼稚園	第五保育所
「教育目標」 友だちと仲よく遊ぼうよ元気な子ども 「目指す幼児像」 ・よく考える子ども ・ねばり強い子ども ・友だちと仲よく遊べる子ども	「めざす子ども像」 ・自分でできることは最後までがんばろうとする子ども ・たくましくしなやかな体をつくろうとする子ども ・友だちと遊ぶことを楽しむ子ども ・自分の思いや要求が、ことばや身振りで言える子ども ・友だちを思いやれる子ども

■笠縫東こども園

【園名】

応募数 園名 100件

⇒〈決定〉「草津市立笠縫東こども園」

〈選定理由〉（「草津市立認定こども園の園名案について（答申）」より）

地域からの親しみやすさの面から、笠縫東幼稚園という、地域の名称が付けられた園名が長年親しまれている。また、子どもの育ちへの願いの面から、子どもや保護者に長年歌い継がれてきた園歌があり、その歌詞には育ちへの願いが込められており、園名も含まれていることから、「笠縫東」の名称と現在の園歌が、認定こども園への移行後も引き継がれることが、望ましいと思われる。これらの地域からの親しみやすさと子どもの育ちへの願いを総合的に勘案し、「草津市立笠縫東こども園」を園名案として選定する。

【園章】

応募数 園章 53作品

⇒〈決定〉



〈園章趣旨〉

「子ども」の“子”と「笠縫東」の“か”を組み合わせ、その中に幼児をイメージさせる顔を配して、笑顔があふれる園を表しています。

【園歌】

※従来の笠縫東幼稚園園歌の園名を「笠縫東こども園」に変更

笠縫東こども園 園歌

作詞・作曲 北島 雅晴

一 あなたもわたしも きみもぼくも
遊ぼう遊ぼう 一緒に遊ぼう
みんなの力を 合わせれば
大きな琵琶湖が 作れるよ
笠縫東こども園

二 大地の上には 虫も花も
みんないっぱい 生きているんだね
みんなの気持ちを 合わせれば
やさしい心になれるから
笠縫東こども園

三 お空の雲が お散歩してる
世界の子どもと あいさつしてる
みんなの声を 合わせれば
大空いっぱい ひびくだろう
笠縫東こども園

〈園歌作成の経緯〉

昭和63年の開園10周年にあたり、当時、笠縫東小学校に勤務されていた北島氏(音楽担当)により作成され、同年10月30日の開園十周年記念式典で初めて披露されました。

■矢橋ふたばこども園

【園名】

応募数 園名 506件

⇒<決定>「草津市立矢橋ふたばこども園」

<選定理由> (「草津市立認定こども園の園名案について(答申)」より)

地域からの親しみやすさの面から、施設の立地場所である「矢橋」という名称が、地域の公共施設として、相応しいものである。

また、子どもたちの育ちへの願いの面から、「ふたば」は、発芽したときに最初に出る葉であり、ものごとの初めや幼児期を表しており、ひとつの根から2枚の葉が出る様子は、保育所と幼稚園というふたつの機能を併せもつ認定こども園で、子どもたちが協力し合って健やかに育てほしいとの願いをよく表している。

これらの地域からの親しみやすさと子どもの育ちへの願いを総合的に勘案し、「草津市立矢橋ふたばこども園」を園名案として選定する。

【園章】

応募数 園章 52作品

⇒<決定>



<園章趣旨>

矢橋ふたばこども園の頭文字「や」を丸くデフォルメして、中心にこどもの笑顔を入れることで、こども園の輪を、そして、上の「や」の点にあたる部分を、ふたばに見立て、こどもたちの育ちのふたばと、保育所と幼稚園の二つの機能を併せ持つことを表しています。

【園歌】

応募数 園章 51作品

⇒<決定>

矢橋ふたばこども園園歌

作詞 朝倉 修
作曲 若林 千春

一

うたごえそらに こだまして
ひえいのやまも はれている
たのしく げんきに すこやかに
ふたばのように みんなのびようよ
矢橋ふたばこども園

二

てとてをつなぎ あそぼうよ
びわこのみずも ひかてる
やさしく つよく たくましく
ふたばのように みんなそだとうよ
矢橋ふたばこども園

三

にこにこえがお あつまれば
きんもくせいも わらってる
なかよく あかるく はつらつと
ふたばのように みんなかがやくよ
矢橋ふたばこども園

<園歌趣旨>

比叡山、琵琶湖、金木犀の花など豊かな自然環境の中、みんな楽しく遊び、助け合い、子どもたちが元気に育てほしいという思いを込めています。